

2022年4月20日

各位

J A三井リース株式会社
株式会社ドリーム・アーツ

J A三井リース、混在する複数の申請方法を SmartDB®で一本化 ～DXの土台となるデジタルの民主化を現場主体で推進～

J A三井リース株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員：新分 敬人、以下 J A三井リース）と「デジタルの民主化^(※1)」のリーディングカンパニー 株式会社ドリーム・アーツ（東京本社：東京都渋谷区、広島本社：広島県広島市、代表取締役社長：山本 孝昭、以下ドリーム・アーツ）は、J A三井リースが、大企業向け業務デジタル化クラウド「SmartDB®（スマートデービー）」を導入したことを発表します。なお、J A三井リースでは2022年3月より、部門内の各種申請業務において SmartDB®の本格利用を開始しています。

※1 現場部門（非 IT 部門）が自らデジタルを活用し、全社のデジタル化を加速させること

<https://www.dreamarts.co.jp/democratization/>

■DX推進の一環で業務プロセス改革に取り組む

J A三井リースは「Real Challenge, Real Change」を経営理念に掲げ、お客さまの経営課題を解決するため多種多様なソリューションを提供する総合リース企業です。近年、J A三井リースでは全社的なデジタルトランスフォーメーション（DX）推進プロジェクトの一環として、デジタルを介した顧客向けの新しい価値提供と並行し、社内の生産性向上と業務全体の最適化を目的とした業務プロセス改革に取り組んでいます。新型コロナウイルス感染拡大に対するテレワークの推進やサステナビリティ経営推進の観点からも、ペーパーレスで効率的に業務を遂行できる体制の整備が求められていました。

■ドリーム・アーツの掲げる「デジタルの民主化」に共感し SmartDB®を採用

事業領域が多岐にわたる J A三井リースでは、経理部への事務処理依頼や決算関連の報告をはじめ、他部門でも膨大な数の依頼申請業務が発生します。J A三井リースでは以前からワークフローシステムを利用していたものの、従来のシステムではワークフローの作成・変更の都度システム部門への作業依頼が必要となり、時間とコストがかかることから数百の申請業務はデジタ

ル化が進まず、紙・メール・ファイル共有と申請方法が混在する状態でした。

そこで目指す姿として掲げたのが「完全ペーパーレス化」「部門担当者自らがワークフローを作れる体制づくり」です。 そのための手段として新システムを検討し、以下理由から SmartDB®を採用しました。

【SmartDB®採用の理由】

- 「デジタルの民主化」への深い共感
部門担当者が自らワークフローの開発、現場主体で進めるデジタル化実現
- 他クラウドシステムとの柔軟な連携
システム間でのデータ連携を実現、手動転記などの手間をなくし業務を効率化
- 電子帳簿保存法への対応
税務関連証憑の保存体制を確立

■承認スピードを 80%削減しているケースもあり、業務スピードの向上を実感

J A三井リースではまず、電子帳簿保存法への対応が急がれていた契約書管理業務のデジタル化に着手しました。電子契約システムと SmartDB®の連携や、ダイナミック・ブランチ機能^(※2)の活用により、単なる紙業務の置き換えにとどまらずデジタルのメリットを生かした業務を構築し、効率化を実現しています。

SmartDB®により、契約書管理業務のほか、経費申請や汎用申請のデジタル化がすでに完了しています。承認に要する時間が SmartDB®導入前と比べ 80%程度削減しているケースもあり、業務スピードが向上しています。 今後は AI-OCR や RPA ツール、チャットボットなどの他システムとの連携も進めながら段階的に利用範囲を拡大する予定です。

※2 業務アプリ間の情報を集約し、親子関係にある文書の一覧表示や、数値の自動集計ができる機能。

本機能の中核となる機能およびアーキテクチャは特許出願中です。

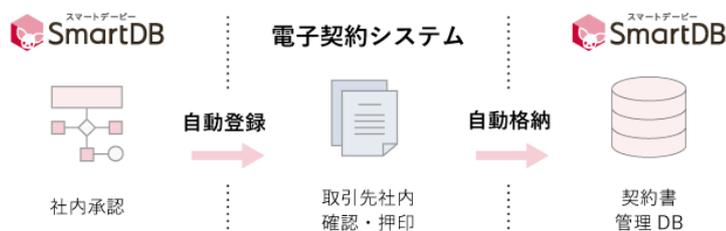
<https://hibiki.dreamarts.co.jp/smartdb/news/information/in211129/>

【関連する SDGs】



【イメージ：SmartDB®による電帳法対応と基幹システム連携】

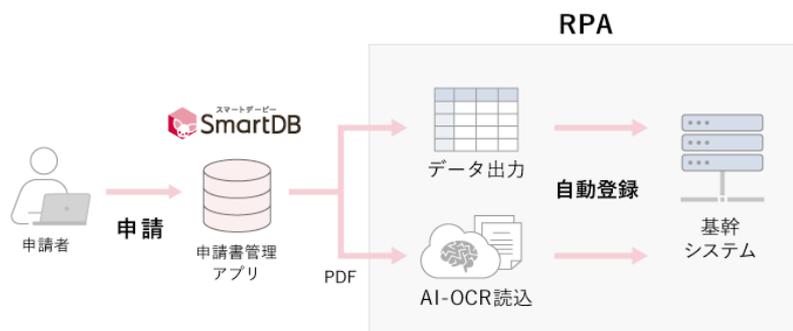
1. 電子契約と電子帳簿保存法対応



Point

電子契約システムとの連携で契約書管理を効率化、電子帳簿保存法にも対応

2. 基幹システムフロントとしての承認ワークフロー



Point

デジタル化と、RPAやAI-OCRを活用した基幹システム連携

■ J A 三井リース株式会社 業務企画部 業務企画室 室長 井上 憲治 氏からのコメント

DX 推進とその土台となる業務デジタル化の取り組みは、J A 三井リースとつながりのあるお客さまにさらなる価値を提供する上でも大きな意味を持ちます。また長期経営目標として掲げている SDGs 達成の観点からも意義深いものです。その点、ドリーム・アーツの掲げる「デジタルの民主化」とそれを実現する SmartDB®は、まさに J A 三井リースが求めていたものに合致していました。業界内ではまだ紙の業務が多いものの、今後、デジタルが主流になる流れは不可逆的です。弊社が率先して業務デジタル化を推進することで、業界内に「デジタルの民主化」の輪を広げていきたいと考えています。

ドリーム・アーツには、今後も J A 三井リースの DX 推進の土台を構築する協創パートナーとして引き続きの支援を期待しています。

J A 三井リースとドリーム・アーツは、今後も“協創”を推進し「現場力強化」「企業競争力向上」の領域において、さらなるパートナーシップを育んでまいります。

SmartDB® (スマートデービー) について <https://hibiki.dreamarts.co.jp/smartdb/>

SmartDB®は、大企業市場シェア No.1^(※3)の業務デジタル化クラウドです。現場個別の業務から全社横断業務までノーコード・ローコードで開発可能。ワークフローと Web データベースを中心に多彩な機能をもち、柔軟な外部システム連携、きめ細やかな権限管理、高度なセキュリティ要件にも対応しています。三菱 UFJ 銀行や大和ハウス工業、立命館大学など、大企業を中心に 50 万名以上が利用中です。サービス基盤としてマイクロソフトが提供するクラウドプラットフォーム「Microsoft Azure」を採用し、利用規模の変化やコンテンツの増加にも柔軟に対応できる環境を実現しています。

※3 テクノ・システム・リサーチ「2021 年 SaaS 型ワークフロー市場メーカーシェア (従業員数 1,000 名以上)」より

JA 三井リース株式会社について <https://www.jamitsuilease.co.jp/>

JA 三井リースは、JA グループ・三井グループを基盤としたネットワークを持ち、国内・海外問わず幅広いフィールドで高付加価値サービス・ソリューションを提供する総合リース企業です。さまざまな業界や商品に関する豊富な知識と専門性を生かし「モノ・事業・金融」を起点としたビジネスを展開してきました。今後もグループ経営理念「Real Challenge, Real Change」のもと、JA 三井リースグループの持つネットワークとお客さまを「つなぐ・つなげる」ことで豊かな社会の実現に貢献してまいります。

株式会社ドリーム・アーツについて <https://www.dreamarts.co.jp/>

1996 年 12 月に設立されたドリーム・アーツは「協創する喜びにあふれる人と組織と社会の発展に貢献する」をコーポレート・ミッションに、「情報共有」と「対話」を重視した独創的かつ高品質なソリューションとサービスを提供します。「協創力を究めよ」のスローガンのもと、ICT だけでも人間だけでもできないビジネス上の難題の解決を ICT と「協創」でお手伝いしています。大企業向け業務デジタル化クラウド SmartDB®、多店舗オペレーション改革を支援する「Shopらん® (ショッピングラン)」、大企業の働き方を変えるビジネスコックピット「InsuiteX® (インスイートエックス)」などのクラウドサービスを開発・提供しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

J A 三井リース株式会社
〒104-0061 東京都中央区銀座 8-13-1
銀座三井ビルディング
経営管理部 広報 IR 室
TEL : 03-6775-3002
E-mail : JAMLDG1114@jamitsuilease.co.jp

株式会社ドリーム・アーツ
〒150-6029 東京都渋谷区恵比寿 4-20-3
恵比寿ガーデンプレイスタワー29F
広報担当 佐藤
TEL : 03-5475-2502 / 080-7023-7602
E-mail : pr@dreamarts.co.jp

記載されている会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。